

食品安全委員会の運営について（令和4年1月から令和4年3月まで）

1. 食品安全委員会の開催

【1月：844回・845回（2回）】

（1）食品健康影響評価の要請案件（10品目）

食品衛生法第13条第3項の規定に基づき、人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・くん液蒸留酢酸
農薬（8品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・アシノナピル ・ゾキサミド ・トリフロキシストロビン ・ピリフルキナゾン ・フェンピラザミン ・フルキサメタミド ・メトブロムロン ・メパニピリム
遺伝子組換え食品等（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・JPBL007株を利用して生産されたα-アミラーゼ

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（9品目）

添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・L-酒石酸カルシウム <u>L-酒石酸カリウム、メタ酒石酸及びL-酒石酸カルシウムのグループADIをL-酒石酸として24 mg/kg体重/日と設定。</u>
農薬（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・トリフルミゾール <u>ADIを0.015 mg/kg体重/日、ARfDを0.25 mg/kg体重と設定。</u> ・フルエンズルホン <u>ADIを0.014 mg/kg体重/日、ARfDを0.33 mg/kg体重と設定。</u> ・フルトリアホール <u>ADIを0.01 mg/kg体重/日、ARfDを0.075 mg/kg体重と設定。</u> ・フロラスラム <u>ADIを0.049 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u>
動物用医薬品及び飼料添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ナイカルバジン <u>ADIを0.2 mg/kg体重/日（DNCとして）と設定。</u>
遺伝子組換え食品等（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・除草剤ジカンバ耐性セイヨウナタネMON94100系統（食品）

品目)	<p>「<u>遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準</u>」（平成16年1月29日食品安全委員会決定）に基づき評価した結果、<u>人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・除草剤ジカンバ耐性セイヨウナタネMON94100系統（飼料） 「<u>遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方</u>」（平成16年5月6日食品安全委員会決定）に基づき評価した結果、改めて「<u>遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準</u>」（平成16年1月29日食品安全委員会決定）に基づき評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物については、人の健康を損なうおそれはないと判断した。 ・MAM株を利用して生産されたα-アミラーゼ 「<u>遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準</u>」（平成16年3月25日食品安全委員会決定）に基づき評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断した。
-----	--

(3) その他

- ・「食品安全委員会の運営について（令和3年10月から12月まで）」を報告。

【2月：第846回・847回・848回（3回）】

(1) 食品健康影響評価の要請案件（4品目）

添加物（1品目）	・フィチン酸カルシウム
遺伝子組換え食品等（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・JPBL012株を利用して生産されたプロテアーゼ ・<i>Komagataella phaffii</i> BSY0007株を利用して生産されたフィターゼ
飼料添加物（1品目）	・25-ヒドロキシコレカルシフェロール

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件（11品目）

添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・フェロシアン化カリウム <u>添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念はない。</u>
農薬（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・フロニカミド <u>ADIを0.073 mg/kg体重/日、一般の集団に対するARfDを3 mg/kg体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを1 mg/kg体重と設定。</u>
動物用医薬品（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・動物用ワクチンに添加剤として使用される成分（硫酸マンガ ン） <u>食品安全基本法（平成15年5月23日法律第48号）第11条第1項第2号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当すると認められる。</u> ・オルトジクロロベンゼン

	<p>「<u>暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について</u>」の3の(3)の①に該当する成分であると判断され、<u>現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u></p> <p>・クロキサシリン <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3の(3)の①に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u></p>
<p>遺伝子組換え食品等（6品目）</p>	<p>・収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP202216）（食品） <u>「<u>遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準</u>」（平成16年1月29日食品安全委員会決定）に基づき評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u></p> <p>・収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP202216）（飼料） <u>「<u>遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方</u>」（平成16年5月6日食品安全委員会決定）に基づき評価した結果、改めて「<u>遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準</u>」（平成16年1月29日食品安全委員会決定）に基づき評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物については、人の健康を損なう恐れはないと判断した。</u></p> <p>・JPAN009株を利用して生産されたグルコアミラーゼ <u>「<u>遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準</u>」（平成16年3月25日食品安全委員会決定）に基づき評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u></p> <p>・JPBL008株を利用して生産されたα-アミラーゼ ・JPBL009株を利用して生産されたα-アミラーゼ ・JPBL010株を利用して生産されたα-アミラーゼ <u>「<u>遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準</u>」（平成16年3月25日食品安全委員会決定）に基づき評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u></p>

(3) その他

- ・「令和4年度食品安全委員会緊急時対応訓練計画」を決定
- ・令和3年度食品健康影響評価技術研究課題の中間評価結果を決定
- ・令和4年度食品健康影響評価技術研究の新規対象課題を決定
- ・食品安全モニターの依頼について事務局から説明

【3月：第849回・850回・851回・852回・853回（5回）】

(1) 食品健康影響評価の要請案件（11品目）

添加物（1品目）	・ L-システイン塩酸塩
農薬（5品目）	・ イソピラザム ・ ピリダクロメチル ・ ピリダリル ・ ホスチアゼート ・ ヨウ化メチル
農薬及び添加物（1品目）	・ フルジオキシニル
動物用医薬品（1品目）	・ 豚増殖性腸炎乾燥生ワクチン（エンテリゾールイリアイテイスTF、同FC、同HC、同HL）
遺伝子組換え食品等（3品目）	・ <i>Bacillus subtilis</i> NTI05 (pHYT2Aopt) 株を利用して生産されたシクロデキストリングルカノトランスフェラーゼ ・ コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (DP915635) (食品) ・ コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (DP915635) (飼料)

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件等（12品目）

農薬（6品目）	<p>・ アシノナビル <u>ADIを0.04 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u></p> <p>・ ピリフルキナゾン <u>ADIを0.005 mg/kg体重/日、一般の集団に対するARfDを1 mg/kg体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.05 mg/kg体重と設定。</u></p> <p>・ フェンピラザミン <u>ADIを0.12 mg/kg体重/日、ARfDを0.8 mg/kg体重と設定。</u></p> <p>・ フルキサメタミド <u>ADIを0.0085 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u></p> <p>・ グルホシネート <u>ADIを0.0091 mg/kg体重/日、ARfDを0.01 mg/kg体重と設定。</u></p> <p>・ メパニピリム <u>ADIを0.073 mg/kg体重/日、ARfDを4 mg/kg体重と設定。</u></p>
---------	--

動物用医薬品（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・豚増殖性腸炎乾燥生ワクチン（エンテリゾールイリアイティ スTF、同FC、同HC、同HL） 本製剤の再審査については、<u>食品安全基本法（平成15年5月 23日法律第48号）第11条第1項第2号の「人の健康に及ぼす 悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当すると認 められる。</u> ・グリカルピラミド <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る 食品影響評価の考え方について」（令和2年5月18日動物用 医薬品専門調査会及び令和2年6月15日肥料・飼料等専門調 査会決定）の3の（3）の①に該当する成分であると判断さ れ、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食 品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u>
遺伝子組換え食品等（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Bacillus subtilis</i> NTI04（pHYT2TD）株を利用して生産され たα-グルコシルトランスフェラーゼ ・ JPAo007株を利用して生産されたカルボキシペプチダーゼ ・ JPAo008株を利用して生産されたアミノペプチダーゼ <p><u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性 評価基準」（平成16年3月25日食品安全委員会決定）に基づ き評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u></p>
飼料添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Corynebacterium glutamicum</i> KCCM80189株により生産された L-イソロイシンを有効成分とする飼料添加物 <p><u>飼料添加物として適切に使用される限りにおいて、食品を通 じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考え られた。</u></p>

（3）その他

- ・「企業申請品目に係る食品健康影響評価についての標準処理期間の達成状況について」
の報告
- ・令和4年度食品安全確保総合調査課題を決定
- ・「家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する
評価指針」の一部改正を決定
- ・「食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク
付けについて」の一部改正を決定
- ・「ハザードである薬剤耐性菌の考え方」を報告
- ・「令和4年度食品安全委員会運営計画」を決定

2. 専門調査会等の運営（全31回）

専門調査会等名	開催回数	調査審議案件
企画等	1回	・令和4年度食品安全委員会運営計画、令和4年度食品安全委員会緊急時対応訓練計画について
添加物	1回	・L-システイン塩酸塩
農薬第一	2回	・評価書の記載内容の検討について
農薬第二	2回	・アセキノシル ・メパニピリム
農薬第三	3回	・1,4-ジメチルナフタレン ・くん液蒸留酢酸 ・メトブロムロン
農薬第四	3回	・トリネキサパックエチル ・パラコート
農薬第五	2回	・ピラジフルミド、フロニカミド ・ゾキサミド、トリフロキシストロビン
動物用医薬品	3回	・チオブロニン、QSAR利用について ・ワクチン添加剤（硫酸マンガン） ・マホプラジン、ジミナゼン
微生物・ウイルス	2回	・微生物評価指針の改訂
プリオン	1回	・牛海綿状脳症（BSE）国内対策をめぐる情勢
遺伝子組換え食品等	3回	・アミラーゼ、ホスホリパーゼ ・フィターゼ、プロテアーゼ ・ダイズGMB151、シクロデキストリングルカノトランスフェラーゼ
肥料・飼料等	4回	・エンラマイシン（ポジリス関連） ・動物用医薬品「注射用ビクシリン」 ・ジクロキサシリン（ポジリス関連） ・25-ヒドロキシコレカルシフェロール
薬剤耐性菌ワーキンググループ	2回	・養殖水産動物に使用する抗菌性物質の評価の進め方、「ハザードである薬剤耐性菌の考え方（案）（WG決定）」 ・行動計画のフォローアップ、養殖水産動物に使用する抗菌性物質の評価の進め方
ぶどう酒の製造に用いる添加物に関するワーキンググループ	2回	・硫酸銅、フェロシアン化カリウム ・硫酸銅、フィチン酸カルシウム

3. 意見交換会の開催等

(1) 意見交換会 (全3回)

開催日	開催地	意見交換会名	共催団体	主な対象者
1/28	web開催	地方共催意見交換会(京都府) リスクコミュニケーション「身近な食品のリスク」～今日から知って、考えて、行動しよう～	京都府	学生
3/3	web開催	食品に関するリスクコミュニケーション「一緒に未来を考える～食品中の放射性物質～」	消費者庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省	一般消費者
3/24	web開催	地方共催意見交換会(名古屋市) 食の安全に関する意見交換会「農薬について考える」	名古屋市	学生

(2) 講座 (全1回)

開催日	開催地	講座名	対象者
3/3	web開催	精講：食中毒を起こす微生物の性質と牛肉を安全に調理するポイントを知ろう ※講演：山本委員長 質疑応答：山本委員長、香西委員 ファシリテーター：松永委員	食品関係事業者、研究者、肉の調理科学に関心のある消費者等

(3) 講師派遣 (全3回、うち委員0回)

開催日	開催地	講演会名	依頼者	対象者
1/21	web開催	食品衛生学	三重大学	学生
2/1	web開催	令和3年度 消費生活相談員研修 専門・事例講座 製品安全に関する消費者トラブルー子どもの事故、食品や自動車等、幅広い相談対応のために	国民生活センター	消費者行政職員及び消費生活相談員
3/14	web開催	令和3年度滋賀県食の安全・安心シンポジウム	滋賀県	一般消費者

4. 情報提供

(1) Facebook、ブログ

健康に被害を及ぼすおそれのある案件、国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■ 1月：12記事

閲覧数（Facebook）19,059件/月、（ブログ）1,138件/月

投稿日	記事内容
1	新年のご挨拶
7	【食品安全委員会 今週の公表事項 0104-0107】
14	農薬のセミナーでの質疑について浅野委員が解説するページを公開しました
	【食品安全委員会 今週の公表事項 0111-0114】
17	【食品安全モニター募集中。締め切り迫る！】
19	0118に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
21	【食品安全委員会 今週の公表事項 0117-0121】
24	【キッズボックス】カフェインと上手につきあうために！（2022年1月号）
26	ノロウイルス、正しく知ってしっかり予防！
	0125に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
28	【食品安全委員会 今週の公表事項 0124-0128】
31	【編集後記：睦月】ガンバレ、受験生！

■ 2月：12記事

閲覧数（Facebook）15,931件/月、（ブログ）1,126件/月

投稿日	記事内容
2	0201に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
4	精講「食中毒を起こす微生物の性質と牛肉を安全に調理するポイントを知ろう」 開催のお知らせ
	【食品安全委員会 今週の公表事項 0131-0204】

9	【お知らせ】令和3年度食品影響評価技術研究成果発表会を開催します
12	岩手県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
14	【食品安全委員会 0207-0210の公表事項】
16	0215に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
18	【食品安全委員会 今週の公表事項 0214-0218】
24	0222に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
	【キッズボックス】農薬について知ろう その3 (2022年2月号)
25	【食品安全委員会 今週の公表事項 0221-0225】
28	【編集後記：如月】安全に気持ちを贈りましょう♪

■ 3月：18記事

閲覧数 (Facebook) 23,410件/月、(ブログ) 1,261件/月

投稿日	記事内容
2	0301に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
4	【食品安全委員会 今週の公表事項 0228-0304】
8	精講「食中毒を起こす微生物の性質と牛肉を安全に調理するポイントを知ろう」を開催しました
9	0308に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
10	災害と食中毒～東日本大震災から11年～
11	【食品安全委員会 今週の公表事項 0307-0311】
15	0315に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
16	【キッズボックス】農薬について知ろう その4 (2022年3月号)
17	食品安全委員会と欧州食品安全機関との第7回定期会合の開催
18	【食品安全委員会 今週の公表事項 0314-0318】
22	0322に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。

25	宮城県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
	【「加熱と調理～鶏の唐揚げ編～」の動画を公開しました】
	"Food Safety - The Official Journal of the Food Safety Commission of Japan" Volume 10, Number 1 has just been published
	食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission-」 Vol.10.No.1を公開しました
28	【食品安全委員会 今週の公表事項 0322-0325】
29	0329に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
31	【編集後記：弥生】食中毒を予防して元気な新生活を！

(2) Twitter

食中毒の防止法等、一般消費者にとって身近で関心（共感）の高いものや、タイムリーなもの、緊急性の高いものを中心に情報発信。

■ 1月：5記事

閲覧数61,130件/月、フォロワー957人

投稿日	記事内容
14	残留農薬の #毒性 の評価に必要なデータはどんなもの？
17	【食品安全モニター募集締め切り迫る！】
24	#眠気ざまし の #コーヒー や #エナジードリンク も飲み過ぎには注意が必要！
26	#ノロウイルス などによる #感染性胃腸炎 が流行中！
31	テスト・受験のシーズンですね。カフェイン入り飲料を飲んで頑張っている人もいるかも？

■ 2月：5記事

閲覧数87,632件/月、フォロワー1,020人

投稿日	記事内容
3	今日は #節分。#恵方巻 が楽しみですね。
	今日は #節分。お子さんと #豆まき も楽しいですね。
4	「#牛肉 は表面にしか菌がないはずなのに、なぜ中心部まで加熱しなければな

	らないのか」など、主に牛肉の調理の疑問について、専門的が詳しく解説するセミナーを3/3(木)15:00~開催します。
	食品安全委員会も一緒に参加しています。
24	農薬は「使い方のルールを守ったら普段の食事や川の水にどのくらいの農薬が含まれることになるのか」と、「ここまでなら一生毎日食べても大丈夫な量」や「川の水に含まれていても大丈夫な量」を比較して使い方のルールを決めています。

■ 3月：8記事

閲覧数105,140件/月、フォロワー1,074人

投稿日	記事内容
7	3月14日は #ホワイトデー 。#バレンタイン のお返しに手作りお菓子もいいですね♡
10	東日本大震災から明日で11年。#災害 の時には避難や水・食料の確保と併せて #食中毒 への注意も必要です。
11	週明け月曜はいよいよ #ホワイトデー。この土日にお菓子を手作りするときには小麦粉の加熱不足に注意しましょう！
16	#農薬 の「ここまでなら一生毎日食べ続けても大丈夫な量」は、動物試験などで影響が出ない量をもとに、安全性を考慮して、食品安全委員会が決めています。
18	3月15日、欧州食品安全機関(#EFSA)と第7回定期会合をオンラインで開催しました。
	3月15日、欧州食品安全機関(#EFSA)と第7回定期会合をオンラインで開催しました。
25	鶏の #唐揚げ はあらゆる世代に人気の料理。
31	明日から4月。#新生活 が始まる人もそうでない人も、バランスの取れた食事とともに #食中毒予防 を。

(3) YouTube

食品の安全性に関する科学的な知識の普及啓発や、その他食品の安全に関する情報についての動画による情報発信

(1～3月に公開した動画の合計視聴回数4,219回、チャンネル登録者数 662人)

公開月日	記事内容	視聴回数
------	------	------

		(公開日～R4. 4. 14)
3月25日	加熱と調理「鶏の唐揚げ編」	636回

食品健康影響評価の審議状況

2022/3/31

区分	諮問案件						自ら評価
	要請件数 注1、2)	うち 令和3年度分	審議中 注3)	意見 募集中 注4)	評価終了 件数	うち 令和3年度分	評価終了 注5)
添加物	302	6	4		298	3	
栄養成分添加物	2			1	1		
香料	7				7		
農薬	1326	43	147	3	1176	56	
うちポジティブリスト関係	543		132		411	7	
うち清涼飲料水	25				25		
うち飼料中の残留農薬基準	59		17		42	2	
動物用医薬品	641	9	16	1	624	18	3
うちポジティブリスト関係	137		16	1	120	6	
器具・容器包装	21		1		20	1	
汚染物質等	68		1		67	1	4
うち清涼飲料水	52				52	1	
微生物・ウイルス	21				21		2
プリオン	67		8		59		14
かび毒・自然毒	9				9		5
遺伝子組換え食品等	369	22	22	2	345	33	
新開発食品	91				91		3
肥料・飼料等	313	3	32	4	277	18	
うちポジティブリスト関係	143		28	3	112	11	
薬剤耐性菌	69		8		61	3	2
高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1				1		
食品による窒息事故に関するWG	1				1		
放射性物質の食品健康影響に関するWG	2				2		
アレルギーを含む食品に関するWG							1
その他(指定成分、アルミニウム等)	2				2		2
合計	3312	83	239	11	3062	133	36

- (注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。
 2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。
 3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。
 4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものを含む。
 5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したもの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。
 6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。
 7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会(H18.3.6～H27.8.24)で審議したものも含む。

委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

(2022年3月31日現在)

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	食品健康影響評価の対象	
2003/12/8	薬剤耐性菌 飼料添加物として指定された抗菌性物質、動物用医薬品のうち、飼料添加物として指定されている抗菌性物質と同一又は同系統で薬剤耐性の交差が認められる抗菌性物質により選択される薬剤耐性菌※（水生動物に使用するスルホンアミド系合成抗菌剤、テトラサイクリン系抗生物質及びマクロライド系抗生物質。）	3
2004/10/29	動物用医薬品 動物用医薬品 チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ネオマイゾン注射液及びバシット注射液）[耐]、アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン）[耐]	2
2005/2/14	農薬 ジコホール	1
2005/8/5	動物用医薬品 スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラル液）[肥]、動物用医薬品 ホスホマイシンを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミンS（静注用））[耐]	2
2005/9/13	動物用医薬品 スルファメトキサゾール[肥]	1
2006/7/18	動物用医薬品 スルファメトキサゾール☆[肥]	1
2006/7/18	農薬 ジコホール☆	1
2006/12/19	農薬 フリラゾール☆	1
2007/1/12	農薬 イマゼタピルアンモニウム塩☆、ピノキサデン☆	2
2007/2/6	農薬 スピロキサミン☆	1
2007/2/6	動物用医薬品 アレスリン☆、クロルマジノン、スルフィソゾール	3
2007/3/6	農薬 トリチコナゾール☆	1
2007/3/6	動物用医薬品 イソシンコメロン酸二プロピル☆	1
2007/3/20	動物用医薬品 スルファチアゾール☆[肥]、スルファジメトキシ☆[肥]、スルファモメトキシ☆[肥]	3
2007/6/5	農薬 メソスルフロンメチル☆、スルフェントラゾン☆	2
2007/8/28	動物用医薬品 ジクロキサシリン☆[肥]	1
2007/10/2	農薬 ジクロメジン<一部☆>	2
2007/12/18	農薬 クロピラリド☆、イソキサジフェンエチル☆	2
2008/3/11	農薬 酸化プロピレン☆、プロディファコウム	2
2008/3/25	農薬 イプロバリカルブ☆、スルホスルフロン、ピリデート、フッ化スルフル	4
2008/6/3	動物用医薬品 トビシリン[肥]	1
2008/7/8	農薬 クロキントセットメキシル☆、クロジナホッププロパルギル☆	2
2008/7/8	器具・容器包装 ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について※	1
2008/9/5	汚染物質 カドミウム	1
2009/2/3	農薬及び動物用医薬品 ホキシム☆	2
2009/2/9	農薬 エチオン☆、オキシデメトンメチル☆、ジクロラン☆、ジノカップ☆、フェンプロピモルフ☆、ベナラキシル☆、ホレート☆	7
2009/3/24	農薬 パラチオンメチル☆、フェナミホス☆	2
2009/3/24	農薬及び動物用医薬品 ジクロロボス及びナレド☆	2
2010/2/16	対象外物質 アスタキサンチン☆[肥]、β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル☆[肥]、β-カロテン☆[肥]、酒石酸☆[肥]、トウガラシ色素☆[肥]、乳酸☆<農薬用途もあり>[肥]、マリーゴールド色素☆[肥]、メナジオン☆[肥]、レチノール☆[肥]	10
2010/3/1	農薬 フルロキシピル☆	1
2010/5/11	農薬 クロルデン☆	1
2010/8/12	農薬 ハロキシホップ☆	1
2010/9/13	農薬 クロマゾン☆、トリクロピル☆	2
2010/9/27	農薬 酸化フェンブタズ☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	食品健康影響評価の対象	
2010/11/12	農薬 イマザリル☆、ジフルフェンゾピル☆、ジメチピン☆、テルブホス☆、トリアスルフロン☆、パラチオン☆、ビンクロゾリン☆、モノクロトホス☆	8
2010/11/15	農薬 テルブホス〈飼〉☆	1
2010/12/10	農薬及び動物用医薬品 クロルフェンビンホス☆	2
2010/12/10	農薬及び動物用医薬品 メトプレン☆〈一部〈飼〉〉	3
2011/1/24	農薬 ペンコナゾール☆	1
2011/1/24	動物用医薬品 セフロキシム☆[肥]	1
2011/2/10	農薬 エンドスルファン☆、クロリムロンエチル☆、クロルタールジメチル☆	3
2011/3/25	農薬 エタメツルフロンメチル☆、ジスルホトン☆、プロモキシニル☆	3
2011/3/25	動物用医薬品 ジミナゼン☆	1
2011/4/19	添加物 カルミン	1
2011/4/25	農薬 プロモキシニル☆〈飼〉	1
2011/9/22	農薬 EPTC☆、アミノピラリド☆、イオドスルフロンメチル☆、2,4-DB☆、クロルスルフロン☆、シクロキシジム☆、ジフェンゾコート☆、テクナゼン☆、ニコスルフロン☆、マレイン酸ヒドラジド☆、メトスルフロンメチル☆	11
2011/10/11	農薬 ジクロホップメチル☆、トリベヌロンメチル☆、ピクロラム☆、フェノキサプロップエチル☆、ブタフェナシル☆、フルオメツロン☆、アトラジン☆	7
2011/10/11	農薬 アトラジン☆〈飼〉	1
2011/11/18	農薬 トラルコキシジム☆、フェノキシカルブ☆、プロスルフロン☆	3
2011/12/19	プリオン 牛海綿状脳症 (BSE) 対策の見直し(オランダ)	1
2012/1/23	農薬及び動物用医薬品 シハロトリン☆	2
2012/1/23	農薬 エチオン☆〈飼〉、ホレート☆〈飼〉、シハロトリン☆〈飼〉、ジクロルボス及びナレド☆〈飼〉	4
2012/1/23	動物用医薬品 スルファジミジン☆[肥]	1
2012/3/26	農薬 リムスルフロン☆	1
2012/3/26	農薬及び動物用医薬品 エマメクチン安息香酸塩☆	2
2012/5/21	農薬 4-クロルフェノキシ酢酸☆、トリデモルフ☆、フラムプロップメチル☆	3
2012/7/18	農薬 テフルトリン☆	1
2012/8/21	農薬 フサライド☆、フルスルファミド☆	2
2012/9/18	農薬 メコプロップ☆	1
2013/1/22	農薬 クロルピリホスメチル☆〈飼〉、クロルフェンビンホス☆〈飼〉、シマジン☆〈飼〉、パラチオン☆〈飼〉	4
2013/1/30	農薬 クロルピリホスメチル☆、シマジン☆	2
2013/3/12	農薬 アイオキシニル☆、エテホン☆、オキサミル☆、カルフェントラゾンエチル☆、クロリダゾン☆、ターバシル☆、ピリミホスメチル☆、フルシトリネート☆、ホルクロルフェニユロン☆、メタミトロン☆、メチダチオン☆、レナシル☆	12
2013/3/12	農薬 ピリミホスメチル☆〈飼〉	1
2013/4/2	プリオン プリオン ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓について※	1
2013/6/10	農薬 γ-BHC☆〈飼〉、ジメトエート☆〈飼〉、パラコート☆〈飼〉、メチダチオン☆〈飼〉	4
2013/6/12	農薬 アラニカルブ☆、イマザキン☆、ジウロン☆、シプロコナゾール☆、ジメトエート☆、パラコート☆、フルキンコナゾール☆	7
2013/8/20	農薬 DBEDC■〈一部☆〉、ノニルフェノールスルホン酸銅■〈一部☆〉、イマザモックスアンモニウム塩☆、ヒメキサゾール☆、メトリブジン☆、リニユロン☆	8
2013/8/20	農薬及び動物用医薬品 ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆[肥]	2
2014/9/9	農薬 ピラゾリネート☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	食品健康影響評価の対象	
2015/1/8	プリオン スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓 ※	1
2015/5/14	プリオン スイス及びリヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/9/30	プリオン イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/12/18	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し※	1
2017/4/19	農薬 ピレトリン☆	1
2017/8/3	プリオン 英国から輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓 ※	1
2017/11/30	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IP105B-1）（食品）■	1
2017/12/19	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IP105B-1）（飼料）■	1
2018/7/4	動物用医薬品 バルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤（エコノア1%プレミックス及び同10%プレミックス）■[耐]	1
2019/2/27	動物用医薬品 アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤（アモスタックLA注）■[耐]	1
2019/10/24	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A■、CA02-1191株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム■	2
2020/2/13	動物用医薬品 ジニトルミド ☆[肥]	1
2020/3/17	動物用医薬品 クロステボル☆、ジブチルサクシネート☆、トリブロムサラン☆、ノルジェストメット☆、ヒドロコルチゾン☆、マホプラジン☆	6
2020/3/17	飼料添加物 オルメトプリム☆、スルファクロルピリダジン☆、スルファジアジン☆、スルファドキシム☆、スルファモイルダブソン☆、ピリメタミン☆アンプロリウム☆、エトパベート☆、スルファキノキサリン☆	9
2020/5/13	プリオン 「ドイツから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓」※	1
2020/9/24	Ra α 3114株を利用して生産されたプロテアーゼ■	1
2020/9/24	RG-V1株を利用して生産されたL-バリン■	1
2020/10/16	遺伝子組換え食品等 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（飼料）■	1
2020/10/19	遺伝子組換え食品等 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（食品）■	1
2021/1/7	遺伝子組換え食品等 線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（食品）■	1
2021/1/12	遺伝子組換え食品等 線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（飼料）■	1
2021/2/4	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（飼料）■	1
2021/2/9	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（食品）■	1
2021/5/14	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（飼料）■	1
2021/5/17	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（食品）■	1
2021/9/28	添加物 硫酸銅	1
2021/9/28	遺伝子組換え食品等 CIT-No. 1株を利用して生産されたL-シトルリン■、VAL-No. 5株を利用して生産されたL-バリン■	2
2021/11/5	遺伝子組換え食品等 DIDK-0176株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	1
2021/12/8	農薬 1,4-ジメチルナフタレン■	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	食品健康影響評価の対象	
2022/1/19	農薬 くん液蒸留酢酸■、ゾキサミド■、トリフロキシストロビン■、メトブロムロン■	4
2022/1/20	遺伝子組換え食品等 <i>Komagataella phaffii</i> BSY0007株を利用して生産されたフィターゼ■	1
2022/1/25	添加物 フィチン酸カルシウム	1
2022/1/24	遺伝子組換え食品等 JPBL012株を利用して生産されたプロテアーゼ■	1
2022/2/17	肥料・飼料等 25-ヒドロキシトコカルシフェロール■	1
2022/2/21	添加物 L-システイン塩酸塩■	1
2022/2/21	遺伝子組換え食品等 <i>Bacillus subtilis</i> NTI05 (pHYT2Aopt) 株を利用して生産されたシクロデキストリングルカノトランスフェラーゼ■	1
2022/3/23	農薬 イソピラザム■、ピリダクロメチル■、ピリダリル■、ホスチアゼート■、ヨウ化メチル■	5
2022/3/23	農薬及び添加物 フルジオキシニル■	1
2022/3/15	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (DP915635) (飼料) ■	1
2022/3/16	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (DP915635) (食品) ■	1

(注)

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

Ⅱ 専門調査会における審議結果（案）について意見募集を行っているもの

募集期間	対象となる審議結果（案）	
2022/2/2～2022/3/1	栄養成分添加物 25-ヒドロキシコレカルシフェロール■ ★	1
2022/2/16～2022/3/17	肥料・飼料等 ジアベリジン☆ ★	1
2022/2/24～2022/3/25	農薬 トリネキサパックエチル■、ピラジフルミド■ ★	2
2022/3/2～2022/3/31	肥料・飼料等 クエン酸（対象外物質）☆ ★	1
2022/3/9～2022/4/7	農薬 アセキノシル■	1
2022/3/9～2022/4/7	遺伝子組換え食品等 JPBL007株を利用して生産された α -アミラーゼ■、 JPAN004株を利用して生産された α -アミラーゼ■	2
2022/3/9～2022/4/7	肥料・飼料等 アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用 ビクシリン）【再審査】■	1
2022/3/23～2022/4/21	肥料・飼料等 エンラマイシン☆	1
2022/3/23～2022/4/21	動物用医薬品 チオプロニン☆	1

（注）

★は案件については意見募集は終了している。

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和3年度）

通知日	食品健康影響評価の対象	
2021/4/13	薬剤耐性菌 亜鉛バシトラシン（薬剤耐性菌）※	1
2021/4/13	遺伝子組換え食品等 JPBL006株を利用して生産されたキシラナーゼ■	1
2021/4/13	農薬 ペンディメタリン■、ペンディメタリン（飼料中）■	2
2021/4/27	動物用医薬品 アルベンダゾール■	1
2021/4/27	遺伝子組換え食品等 JPAo004株を利用して生産されたキシラナーゼ■、JPAo005株を利用して生産されたキシラナーゼ■、JPBL004株を利用して生産されたホスホリパーゼ■、JPBL005株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	4
2021/5/11	肥料・飼料等 ハロフジノン☆、マデュラマイシン☆、ロベニジン☆	3
2021/5/18	農薬カズサホス■、クレトジム■、フェナザキン■	3
2021/5/25	農薬 ウニコナゾールP■、ブロフラニド■	2
2021/5/25	食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）のゲンチアナバイオレット試験法及び酢酸トレンボロン試験法の追加	1
2021/6/1	遺伝子組換え食品等 Morph TG#626株を利用して生産されたα-グルコシダーゼ■、JPTR003株を利用して生産されたムラミダーゼ■、JPAN003株を利用して生産されたグルコアミラーゼ■、JPAN007株を利用して生産されたヘミセルラーゼ■、BML780 MDT06-221株を利用して生産されたα-アミラーゼ■	5
2021/6/8	農薬 シフルトリン（飼料中）☆	1
2021/6/8	農薬及び動物用医薬品 シフルトリン☆	2
2021/6/8	農薬及び動物用医薬品 シフルトリン	1
2021/6/8	農薬 ポリオキシシン（ポリオキシシンD亜鉛塩及びポリオキシシン複合体）■（一部☆）、プロパルギット■	3
2021/6/8	動物用医薬品 アルベンダゾールを有効成分とするすずき目魚類の飼料添加剤（スポチール100）■、エトキサゾールを有効成分とする牛の皮膚投与剤（ダニレス）■、性腺刺激ホルモン放出ホルモン・ジフテリアトキシイド結合物を有効成分とする豚の注射剤（インプロバック）■	3
2021/6/15	農薬 オキサチアピプロリン■、ピリベンカルブ■、ベンチアバリカルブイソプロピル■	3
2021/6/15	農薬及び動物用医薬品 スピノサド■	1
2021/6/15	動物用医薬品 プラジクアンテルを有効成分とするくろまぐろを含むすずき目魚類用飼料添加剤（水産用ベネサル、ハダクリン）■	1
2021/6/22	薬剤耐性菌 スルファキノキサリン※、スルフォンアミド系合成抗菌剤※	2
2021/6/22	農薬 ベンタゾン☆、ベンタゾナー、ベンタゾン（飼料中）☆、フェナリモル☆、ホラムスルフロム■、MCPA■	6
2021/6/22	農薬及び動物用医薬品 はちみつへの農薬・動薬残留基準設定	1
2021/6/22	遺伝子組換え食品等 JPAN005株を利用して生産されたペクチナーゼ■	1
2021/6/22	肥料・飼料等 バシトラシン☆、Trichoderma reesei JPTR003株を用いて生産されたムラミダーゼ濃縮物・精製物を原体とする飼料添加物■、安息香酸■、安息香酸を有効成分とする飼料添加物■	3
2021/6/29	農薬 ピラフルフェンエチル■、フルフェノクスロン■	2
2021/6/29	化学物質・汚染物質 鉛（清涼飲料水）	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和3年度）

通知日	食品健康影響評価の対象	
2021/6/29	器具・容器包装 鉛	1
2021/6/29	遺伝子組換え食品等 除草剤グリホサート誘発性雄性不稔並びに除草剤ジカンバ、グルホシネート、アリルオキシアルカノエート系及びグリホサート耐性トウモロコシMON87429系統（食品）■、除草剤グリホサート誘発性雄性不稔並びに除草剤ジカンバ、グルホシネート、アリルオキシアルカノエート系及びグリホサート耐性トウモロコシMON87429系統（飼料）■	2
2021/7/28	農薬 1-ナフタレン酢酸■、シアントラニリプロール■	2
2021/7/28	農薬及び動物用医薬品 エトキサゾール■	1
2021/8/4	農薬及び動物用医薬品 ペルメトリン■	1
2021/8/24	農薬 フェンピロキシメート■、メトミノストロビン■	2
2021/8/24	遺伝子組換え食品等 pPDX株を利用して生産されたホスホリパーゼ■、除草剤グルホシネート耐性及び稔性回復性カラシナRF3■	2
2021/8/31	肥料・飼料等 アンピシリン☆、アンピシリンナトリウム■	2
2021/8/31	動物用医薬品 クマホス☆	1
2021/8/31	肥料・飼料等 フェノキシメチルペニシリン☆	1
2021/8/31	遺伝子組換え食品等 JPAo003株を利用して生産されたりパーゼ■、DSM32805株を利用して生産されたキモシン■、JPAN006株を利用して生産されたりパーゼ■	3
2021/8/31	農薬 スルホキサフロル■、フルアジナム■、ピコキシストロビン■	3
2021/9/7	農薬 テトラニリプロール■、ペンチオピラド■	2
2021/9/15	動物用医薬品 イベルメクチン及びプラジクアンテルを有効成分とする馬の経口投与剤（エクイバランゴールド）■	1
2021/9/29	動物用医薬品 ルバベグロン■	1
2021/10/5	農薬 アフィドピロペン■	1
2021/10/5	添加物 炭酸水素カリウム	1
2021/10/6	農薬 ペンシクロン■	1
2021/10/6	肥料・飼料等 カルバドックス☆、ニフルスチレン酸ナトリウム☆、ロキササルソン☆	3
2021/10/26	農薬 テトラコナゾール■、フロメトキン■	2
2021/10/27	肥料・飼料等 草木由来のバイオマス燃焼灰及び熔成けい酸質肥料■	1
2021/11/2	農薬 イプロジオン☆■	2
2021/11/2	遺伝子組換え食品等 LFS 株を利用して生産されたりパーゼ■	1
2021/11/16	農薬 アブシシン酸(対象外物質) ■、エトフェプロックス■	2
2021/11/16	動物用医薬品 鶏コクシジウム感染症(ブルネッティ・ネカトリックス)混合生ワクチン(日生研鶏コクシ弱毒2価生ワクチン(BN)) ■	1
2021/12/2	動物用医薬品 塩化ジデシルジメチルアンモニウム☆	1
2021/12/2	動物用医薬品 ニタルソン☆	1
2021/12/8	動物用医薬品 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の5第1項の規定に基づく農林水産省令の改正について、牛伝染性鼻気管炎・牛パラインフルエンザ混合生ワクチン(ティーエスブイ2)	2

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和3年度）

通知日	食品健康影響評価の対象	
2021/12/21	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95379系統(食品)■、チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95379系統(飼料)■	2
2022/1/19	動物用医薬品・飼料添加物 ナイカルバジン■	1
2022/1/19	農薬 トリフルミゾール■	1
2022/1/25	添加物 L-酒石酸カルシウム■	1
2022/1/26	農薬 フルエンシルホン■、フルトリアホール■、フロラスラム■	3
2022/1/26	遺伝子組換え食品等 除草剤ジカンバ耐性セイヨウナタネMON94100系統(食品)■、除草剤ジカンバ耐性セイヨウナタネMON94100系統(飼料)■、MAM株を利用して生産された α -アミラーゼ■	3
2022/2/2	遺伝子組換え食品等 収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(DP202216)(食品)■、収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(DP202216)(飼料)■	3
2022/2/2	遺伝子組換え食品等 JPAN009株を利用して生産されたグルコアミラーゼ■	1
2022/2/15	動物用医薬品 動物用ワクチンの添加剤として使用する成分(硫酸マンガン)■※	1
2022/2/15	遺伝子組換え食品等 JPBL008株を利用して生産された α -アミラーゼ■、JPBL009株を利用して生産された α -アミラーゼ■、JPBL010株を利用して生産された α -アミラーゼ■	3
2022/2/22	添加物 フェロシアン化カリウム■	1
2022/2/22	農薬 フロニカミド■	1
2022/2/24	動物用医薬品 オルトジクロロベンゼン☆	1
2022/2/24	肥料・飼料等 クロキサシリン☆	1
2022/3/2	飼料添加物 <i>Corynebacterium glutamicum</i> KCCM80189株により生産されたL-イソロイシンを有効成分とする飼料添加物■	1
2022/3/9	農薬 アシノナピル■、グルホシネート■、ピリフルキナゾン■、フェンピラザミン■、フルキサメタミド■	5
2022/3/16	動物用医薬品 グリカルピラミド☆	1
2022/3/16	動物用医薬品 豚増殖性腸炎乾燥生ワクチン(エンテリゾールイリアイテイスTF、同FC、同HC、同HL)■	1
2022/3/16	遺伝子組換え食品等 <i>Bacillus subtilis</i> NTI04 (pHYT2TD) 株を利用して生産された α -グルコシルトランスフェラーゼ■、JPAo007株を利用して生産されたカルボキシペプチダーゼ■、JPAo008株を利用して生産されたアミノペプチダーゼ■	3
2022/3/29	農薬 メパニピリム■	1

(注)

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である(平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ)。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

IV その他

通知日	通知先	件名
2004/1/30	厚・農・環	遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準 遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2004/3/18	農	普通肥料の公定規格に関する食品健康影響評価の考え方
2004/3/25	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準
2004/5/6	厚・農・環	遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方
2004/8/5	厚・農	特定保健用食品の安全性評価に関する基本的考え方
2004/9/30	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針
2005/4/28	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方
2006/6/29	厚・農	暫定基準が設定された農薬等の食品健康影響評価の実施手順
2007/9/13	厚・農	食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針（暫定版）
2008/6/26	厚・農・環	遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準
2010/5/27	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針
2016/5/17	厚	香料に関する食品健康影響評価指針
2017/7/18	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針
2018/4/10	厚・農	動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針
2018/9/25	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針 動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2019/5/28	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針
2019/10/1	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針
2019/10/29	厚・農	食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針
2019/11/13	厚・農	遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2020/3/24	厚・農	食品安全委員会専門調査会等運営規定 改正
2020/6/16	厚・農	残留農薬の食品健康影響評価におけるコリンエステラーゼ阻害作用を有する農薬の取扱いについて
2020/7/7	厚・農	暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について
2020/10/6	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/4/6	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/5/18	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針
2021/9/29	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 香料に関する食品健康影響評価指針（改正） 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針（改正）
2022/3/22	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針の一部改正 食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについての一部改正